

令和9年度

神戸大学大学院

人間発達環境学研究科博士課程後期課程

学生募集要項

人間発達専攻

人間環境学専攻（第Ⅰ期8月実施，第Ⅱ期2月実施）

注意 志願者の皆様へ

諸般の事情から，本募集要項発表後に入試方法等を変更することがあります。変更する場合は，神戸大学大学院人間発達環境学研究科ウェブサイトにてお知らせしますので，出願を予定されている方は，こまめにウェブサイトをご確認ください。特に，出願の直前及び試験実施日の直前には，必ずご確認をお願いいたします。

（神戸大学大学院人間発達環境学研究科ウェブサイト）

<https://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/>

神戸大学大学院人間発達環境学研究科

人間発達環境学研究科の組織

専攻	講座	教育研究分野	前期課程履修コース	附属施設
人間発達	人間発達	心理系	臨床心理学コース	■未来共創プラットフォーム ▷ヒューマン・コミュニティ創成研究センター（HCセンター） ▶のびやかスペース あーち（HCセンターサテライト施設） ▷心理教育相談室 ▷教育連携推進室 ▷サイエンスショップ ▷アクティブエイジング研究センター
		表現系		
		行動系		
		教育系		
		—	1年履修コース	
人間環境学	人間環境学	環境基礎科学系		
		環境形成科学系		
	連携講座 環境先端科学（後期課程）	環境先端科学		

【取得できる学位】

人間発達環境学研究科博士課程後期課程を修了した者は、博士（学術）を基本とし、教育研究内容により人間発達専攻においては博士（教育学）、人間環境学専攻においては博士（理学）の学位を取得できます。

目 次

1. アドミッション・ポリシー	1
2. 募集人員	1
3. 出願資格	2
4. 出願期間	3
5. 出願方法	4
6. 試験方法, 試験期日及び試験場	7
7. 障害のある者の出願	7
8. 合格者発表	8
9. 入学手続	8
10. 個人情報の取扱いについて	9
11. 注意事項	9
麻しん（はしか）, 風しんの感染予防措置	10
12. 志願者数等の状況	11
13. 教員一覧	12

教育方法の特例（夜間及び土・日曜日開講等）の実施

本研究科は、一部の授業において、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（有職者の所属先における勤務条件、通学に要する時間等を考慮し、授業時間を、通常の授業時間帯及び通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に設けます。）を実施します。

1. アドミッション・ポリシー

人間発達環境学研究科は、人間の発達及びそれを取り巻く環境に関わる基礎的並びに応用的・実践的な教育研究活動に主体的に参加し、これを推進する指導的役割を担える高度な専門的能力を有する人材の養成を目指しています。そのため、次のような資質・能力を持った学生を積極的に受け入れます。

●人間発達環境学研究科博士課程後期課程の求める学生像

1. 高度な研究を遂行していくための基礎的な資質・能力
〔求める要素：知識・技能〕
2. 人間の発達や環境に関する諸問題に対する鋭敏な感受性と深い専門知識にもとづいて新しい課題を析出していく資質・能力
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，関心・意欲〕
3. 多角的かつ重層的に課題を分析・考察し、体系的に概念化と理論化を行うことができる高度な知的能力
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲〕
4. 現代的諸問題を解決するための具体的な方策を提案し、柔軟に対応できる行動力
〔求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性，関心・意欲〕

●入学者選抜の基本方針

以上のような学生を選抜するために、人間発達環境学研究科博士課程後期課程のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測り、総合的に判断します。

一般入試，外国人留学生特別入試では、「口述試験」を課し、提出書類からも、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を測り、総合的に判断します。

2. 募集人員（人間環境学専攻は、第Ⅰ期募集と第Ⅱ期募集を合わせて）

専攻	講座	受験区分	募集人員
人間発達	人間発達	心理系	11人
		表現系	
		行動系	
		教育系	
人間環境学	人間環境学	自然環境論	6人
		数理情報環境論	
		生活環境論	
		社会環境論	
	(連携講座) 環境先端科学		

- (注) 1. 人間環境学専攻の募集人員は、第Ⅰ期（令和8年8月実施）と第Ⅱ期（令和9年2月実施）を合わせた人数です。
 2. 募集人員の中には、進学者及び外国人留学生特別入試若干人を含みます。
 3. 人間環境学専攻人間環境学講座（受験区分：社会環境論）における第Ⅰ期募集は、修士論文を提出し修士の学位を得た者のみを対象とします。

3. 出願資格

① 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び令和9年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する昭和47年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの）
- (7) 本研究科において、個別の出願資格事前審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに24歳に達するもの

② 外国人留学生特別入試

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当し、入学後「留学」の在留資格が取得できる者

- (1) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに取得見込みの者
- (2) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び令和9年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する昭和47年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの）
- (7) 本研究科において、個別の出願資格事前審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに24歳に達する者

(注意) 個別の入学資格(出願資格事前)審査について

- ・ 上記一般入試の出願資格(6)又は(7)及び外国人留学生特別入試の出願資格(6)又は(7)により出願しようとする者は、出願に先立って本研究科の出願資格事前審査を受けなければなりません。
- ・ 事前審査を受けようとする者は、次の①～⑦の書類等を期限までに郵送(書留速達郵便、必着)してください。

【提出書類】

- ① 出願資格認定審査調書(本研究科所定用紙, 自書してください。)
- ② 最終学校長が作成した成績証明書及び卒業証明書(修了証明書)
- ③ 研究歴証明書(出願資格(6)のみ, 本研究科所定用紙, 所属機関の長等が証明したもの)
- ④ 研究歴又は実務経験に関する報告書 1部
- ⑤ 学術論文, 公刊著書等及び論文要旨 各3部(3点まで, コピー可)
(論文要旨は日本語で2,000字程度)
心理系及び教育系に出願する者は, 論文の英文要約
各3部(1,000語程度, コピー可)
- ⑥ 本研究科における研究計画書 4部(本研究科所定用紙, コピー可)
- ⑦ 審査結果通知用封筒(長形3号封筒に返送先住所, 氏名, 郵便番号を記入し, 速達郵便用切手410円分を貼り付けたもの)

【入学資格(出願資格事前)審査書類 提出期間】

(1)人間環境学専攻(第I期)	令和8年5月18日(月)から令和8年5月29日(金)まで
(2)人間発達専攻, 人間環境学専攻(第II期)	令和8年11月24日(火)から令和8年11月27日(金)まで

※審査のために提出された書類等は返却しません。

※審査の結果を, (1)人間環境学専攻(第I期)の場合は令和8年6月12日(金)までに,

(2)人間発達専攻, 人間環境学専攻(第II期)の場合は令和9年1月8日(金)までに本人あて通知します。

※審査の結果を通知するまで出願書類の送付及び検定料は払込まないでください。

4. 出願期間

- (1) 人間環境学専攻(第I期)
令和8年7月6日(月)から令和8年7月10日(金)午後4時まで(必着)
- (2) 人間発達専攻, 人間環境学専攻(第II期)
令和9年1月12日(火)から令和9年1月18日(月)午後4時まで(必着)

出願を郵送により行う者は, 書留速達郵便で郵便事情を十分考慮して早めに郵送してください。
また, 出願を持参により行う者は, 上の出願期間中の平日午前9時から正午まで, 午後1時から午後4時までの間にお越しください。

受験票は, 後日送付します。

出願書類・入学資格審査書類等の送付先及び学生募集に関する問い合わせ先
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3丁目11
神戸大学大学院人間発達環境学研究科教務学生係
TEL (078)803-7924

※封筒の表に「大学院人間発達環境学研究科博士課程後期課程入学願書在中」と朱書してください。

※入学資格(出願資格事前)審査書類を送付する際は, 封筒の表に「博士課程後期課程事前審査書類在中」と朱書してください。

5. 出願方法

出願者は、次の書類等を取りそろえ郵送又は持参してください。

なお、個別の入学資格（出願資格事前）審査を願い出て許可になった者は、次の(2)、(3)、(6)、(7)の書類は提出しなくてもかまいません。

提出書類等	摘 要
(1) 入学願書 ・履歴書	(本研究科所定の用紙)
(2) 成績証明書	出願資格を証明する出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したもの。 ただし、大学院を修了していない者及び外国の大学を卒業した者は、最終学 校長が作成した成績証明書を提出してください。
(3) 修了（見込） 証明書	出願資格を証明する出身大学院の研究科長（又は学長）が作成したもの。 ただし、大学院を修了していない者及び外国の大学を卒業した者は、最終学 校長が作成した修了見込証明書等を提出してください。
(4) 受験票、 整理票	(本研究科所定の用紙)
(5) 写真	3枚（上半身、脱帽、正面、縦4cm・横3cm） 出願前3か月以内に撮影したものを、入学（進学）願書、受験票及び整理 票の所定の欄に貼ってください。
(6) 論文等	<p>(1) 人間発達専攻 受験区分「心理系」、「表現系」、「教育系」</p> <p>A. 修士論文を提出して修士の学位を得た者、又は、取得見込みの者は、 下記の①、②、③及び⑤を提出してください。</p> <p>B. 修士論文を提出せずに修士の学位を得た者、又は、取得見込みの者は、 下記の④及び⑤を提出してください。</p> <p>①修士論文 7部（コピー可） ②修士論文の要旨（和文） 7部 （A4サイズの用紙を使用、和文2,000字程度。コピー可、ただし、外国人 留学生は提出不要。） ③修士論文の要旨（英文） 7部 （A4サイズの用紙を使用、英文1,000語程度。コピー可。） ④修士論文に相当する学術論文等（3点まで）各7部（コピー可） ⑤公刊学術論文（受理されているものを含む。）がある場合は、3点まで の論文。各7部（コピー可）</p> <p>※④、⑤が外国語の論文の場合は、日本語の論文要旨（各7部、和文2,000字程度、 コピー可）を提出してください。 ※人間発達専攻の受験区分「心理系」で受験する者のうちBに該当する者は、上 記の④又は⑤の代表する論文の少なくとも一つについて英文要約を提出して ください。（各7部、英文1,000語程度、コピー可）</p>

	<p>(2) 人間発達専攻 受験区分「行動系」</p> <p>A. 修士論文を提出して修士の学位を得た者、又は、取得見込みの者は、下記の①～⑤を提出してください。</p> <p>B. 修士論文を提出せずに修士の学位を得た者、又は、取得見込みの者は、下記の③、④及び⑤を提出してください。</p> <p>①修士論文 3部 (コピー可)</p> <p>②修士論文の要旨 3部 (A4サイズ用の紙、和文2,000字程度又は英文1,000語程度。コピー可) 修士論文が外国語論文の場合は、和文の論文要旨を提出してください。</p> <p>③これまでの研究に関する概要 3部 (A4サイズ用の紙、和文2,000字程度又は英文1,000語程度。コピー可)</p> <p>④公刊学術論文 (受理されているものを含む。)がある場合は、3点までの論文。各3部 (コピー可) 外国語論文の場合は、日本語の論文要旨を提出してください。 各3部 (和文2,000字程度、コピー可)</p> <p>⑤研究業績及び学会発表の一覧表 (A4サイズ用の紙を使用) 3部 (コピー可)</p> <p>※Bに該当する者は、上記の④の代表する論文の少なくとも一つについて英文要約を提出してください。 各3部 (英文1,000語程度、コピー可)</p>
	<p>(3) 人間環境学専攻 (第Ⅰ期・第Ⅱ期共通)</p> <p>A. 修士論文を提出して修士の学位を得た者、又は、既に修士論文を作成 (提出) し修士の学位を得る見込みの者は、下記の①、②及び④を提出してください。</p> <p>B. 修士の学位を取得見込みの者、又は、修士論文を提出せずに修士の学位を得た者は、下記の③及び④を提出してください。 (注1) ただし、人間環境学講座の受験区分：社会環境論を志望する者は、下記の①、②及び④を提出してください。 (注2) 第Ⅱ期出願の者で、修士の学位を取得見込みの者は、下記の①、②及び④を提出してください。</p> <p>①修士論文 7部 (コピー可)</p> <p>②修士論文の要旨 7部 (A4サイズ用の紙を使用、和文2,000字程度又は英文1,000語程度。コピー可)</p> <p>③これまでの研究に関する概要 7部 (A4サイズ用の紙を使用、和文2,000字程度又は英文1,000語程度。コピー可)</p> <p>④公刊学術論文 (受理されているものを含む。)がある場合は、3点までの論文。各7部 (コピー可)</p>
<p>(7) 本研究科における研究計画書</p>	<p>8部 「行動系」は4部</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間発達専攻を志望する者は、本研究科所定の用紙、コピー可 人間環境学専攻人間環境学講座の受験区分：自然環境論を志望する者は、A4サイズ用の紙を使用、和文2,000字程度又は英文1,200語程度、コピー可。人間環境学専攻のその他の受験区分を志望する者は、本研究科所定の用紙に和文又は英文で記入、コピー可

(8) 検定料	<p>① 30,000円 本研究科所定の郵便局専用払込用紙（検定料用）を使用して郵便局に払込み、「振替払込受付証明書（郵便局の日附印が必要）」を入学願書の所定の欄に必ず貼ってください。</p> <p>② 出願時に国費外国人留学生である者のうち、令和9年4月1日以降において、引き続き「国費外国人留学生奨学金の支給期間満了に伴う延長申請手続きが可能な資格を有する者」については、検定料は不要です。</p> <p>③ ②により出願時に検定料の払込みを行わない場合は、出願時に②に該当する者であることを証明する次の書面を添付してください。 （現に本学に国費外国人留学生として在籍し②に該当する者は、証明する書面を添付する必要はありません。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在学する大学発行の国費外国人留学生である旨の証明書 ・ 在学する大学発行の②に定める延長申請手続きについて資格を有する者である旨の証明書 ・ ②に定める延長申請手続きを行う予定である旨の本人の申立書 <p>④ ③の記載について不明な点がある場合は、出願前（検定料を郵便局に払込む前）に神戸大学大学院人間発達環境学研究科教務学生係にお尋ねください。</p> <p>(注)納付した検定料は、出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p>
(9) 住民票(写)・パスポート(写)等	<p>日本国籍以外の国籍を持つ出願者のみ</p> <p>日本に居住している者は、市区町村の発行する「住民票の写し」（提出日前30日以内に発行されたものに限る。）又はこれに代わる書類（「在留カード」「外国人登録証明書」のコピー（表裏両面をコピーしたもの））を提出してください。</p> <p>海外に居住している者は、パスポートのコピーを提出してください。</p>
(10) あて名ラベル	<p>1枚（本研究科所定の用紙）住所、氏名、郵便番号を記入してください。</p>
(11) 返信用封筒	<p>長形3号（縦23.5cm×横12cm）の封筒に住所、氏名、郵便番号を記入し、切手410円分を貼ってください。 （受験票の送付に使用します）</p>

- ※ 婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なる場合は、それを証する公的機関の発行した証明書（住民票の写し等）を提出してください。
- ※ 進学者については、別途配付する「進学者選考要項」を参照してください。

6. 試験方法, 試験期日及び試験場

(1) 試験方法

【人間発達専攻】

受験区分	試験方法
心理系 表現系 行動系 教育系	提出された書類, 口述試験の成績を総合して行います。

【人間環境学専攻 (第Ⅰ期, 第Ⅱ期共通)】

受験区分	試験方法
自然環境論 数理情報環境論 生活環境論 社会環境論	提出された書類, 口述試験の成績を総合して行います。

(2) 試験期日

【人間環境学専攻 (第Ⅰ期)】

試験期日	区分	試験時間	備考
令和8年8月18日(火)	口述試験	実施時間及び会場については, 受験票送付時に通知します。	研究計画等に関するプレゼンテーションを含みます。

*プロジェクターを用意していますので, 利用可能です。

【人間発達専攻 (受験区分「教育系」)】

試験期日	区分	試験時間	備考
令和9年2月20日(土)	口述試験	実施時間及び会場については, 受験票送付時に通知します。	

【人間発達専攻 (受験区分「心理系」, 「表現系」, 「行動系」), 人間環境学専攻(第Ⅱ期)】

試験期日	区分	試験時間	備考
令和9年2月20日(土)	口述試験	実施時間及び会場については, 受験票送付時に通知します。	研究計画等に関するプレゼンテーションを含みます。

*プロジェクターを用意していますので, 利用可能です。

(3) 試験場

神戸大学大学院人間発達環境学研究科学舎
神戸市灘区鶴甲3丁目11 (市バス36系統「神大人間発達環境学研究科前」下車)

7. 障害のある者の出願

障害のある入学志願者で, 受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は, 原則として

(1) 人間環境学専攻 (第Ⅰ期) 令和8年6月5日(金) まで

(2) 人間発達専攻, 人間環境学専攻(第Ⅱ期) 令和8年11月27日(金) まで

に申し出て相談してください。

なお, 相談に日数を要する場合がありますので, できるだけ早く申し出てください。

8. 合格者発表

(1) 人間環境学専攻（第Ⅰ期）

令和8年9月16日（水）

(2) 人間発達専攻，人間環境学専攻（第Ⅱ期）

令和9年3月9日（火）

選抜の結果は，合格発表当日，受験者全員に速達で発送します。到着日は，上の日付の翌日以降となります。

なお，掲示及びウェブサイト上での発表は行いません。また，電話等による照会には一切応じません。

9. 入学手続

入学手続は，令和9年3月中旬に郵送にて行います。

入学手続期間，提出書類，入学手続方法等の詳細については，入学手続関係書類送付の際に通知します。

なお，入学手続関係書類は，

人間環境学専攻（第Ⅰ期）の合格者には，令和9年2月上旬の送付を予定しています。

人間発達専攻，人間環境学専攻（第Ⅱ期）の合格者には，合格通知書と併せて送付します。

手 続 書 類 等	備 考
① 令和9年度神戸大学大学院人間発達環境学研究科博士課程後期課程受験票	
② 納付金 ◎入 学 料 282,000円 〔 授 業 料 前期分 267,900円 年 額 535,800円 〕	入学料については，(1)の入学手続日までに納付してください。 ※前期分の授業料は令和9年4月下旬に口座引き落としされますが，詳しくは合格者に別途お知らせします。

(注) 1. 上記の金額は，令和8年度の例です。

2. 入学手続きの詳細（提出書類及び入学料の納付方法等）については，合格者に別途お知らせします。

3. 納付した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

4. 在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

(参考) 入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除について

令和9年度の入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除の内容については，免除等の内容，申請方法等の詳細が決まり次第，神戸大学ホームページ「学生生活・学生支援」→「経済支援」→「授業料（入学料）の免除及び入学料の徴収猶予について」に掲載します。

(URL : <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/campus-life/financial-aid/tuition/>)

掲載内容について，不明な点等がある場合は，下の問い合わせ先に照会してください。

入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除に関する問い合わせ先

神戸大学学務部学生支援課奨学支援グループ (stdnt-shogakushien@office.kobe-u.ac.jp)

10. 個人情報の取扱いについて

- (1) 本研究科が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針（平成15年法律第57号）」等に基づき厳密に取扱います。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜（出願処理，試験実施），合格者発表，入学手続業務，今後の入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究のために利用します。なお，調査・研究及び結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。
- (3) 出願にあたって提出された個人情報は，入学者の個人情報についてのみ入学後の学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請），教務関係（学籍，修学指導）等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (4) 一部の業務を本研究科より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合，業務を行うために必要となる限度で受託業者に個人情報を提供しますが，守秘義務を遵守するよう指導します。

11. 注意事項

- (1) 出願する者は，自己の研究テーマによる受入れと研究指導の可否について，出願前に指導を希望する教員と相談したうえで出願してください。
- (2) 出願手続後は，出願書類の記載事項の変更は認めません。
ただし，連絡先について変更があれば速やかに連絡してください。
- (3) 一度受理した出願書類の返却は認めません。
- (4) 大学院入試の第Ⅰ期に合格した場合は第Ⅱ期の合格者になることはできません。
- (5) 記載事項に虚偽の記入をした場合は，入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

《 麻しん（はしか）・風しんの感染予防措置 》

麻しん・風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

神戸大学では「麻しん風しん登録制度」を定め、入学後のキャンパス内での麻しん・風しんの流行を防止するため、全ての新生に次の①、②、③のいずれかを提出していただいています。

- ① 麻しん・風しんのワクチン接種を、満1歳以降にそれぞれについて2回ずつ受けたとを証明する書類（推奨）
 - ② 過去5年以内（令和4（2022）年4月以降）に麻しん・風しんのワクチン接種を、それぞれについて1回ずつ受けたことを証明する書類
 - ③ 過去5年以内（令和4（2022）年4月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が、「麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（下記の表を参照）を有していること」を証明する書類
- * ①、②のワクチンは、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。
- * ①、②では、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。
- * 母子手帳等のワクチン接種記録や接種済証も、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば①、②の書類として使用できます。
- * 既往歴（かかったこと）がある場合は、③を提出するか、ワクチン接種を受けて①か②を提出してください。
- * ③では、以下の表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され、測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を受け、①か②を提出してください。
- * ①、②、③の書類の組み合わせ、例えば麻しんについては①、風しんについては③を提出してもかまいません。
- * 麻しん・風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。
- * 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

提出期限：4月入学者は新生健康診断実施日、10月入学者は10月入学者健康診断実施日

提出先：保健管理センター

麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

区分	測定方法	判定基準	備考
麻しん	IgG-EIA法	8.0以上の陽性	3つの測定方法のうち、いずれかで陽性
	PA法	256倍以上の陽性	
	NT法	4倍以上の陽性	
風しん	HI法	32倍以上の陽性	2つの測定方法のうち、いずれかで陽性 (HI法を推奨)
	IgG-EIA法	8.0以上の陽性	

- * ワクチン接種歴が条件を満たす場合や追加接種する場合は、抗体検査は不要です。
- * 血中抗体価の測定は、この表の方法によってください。
- * 発症を防ぐのに十分な血中抗体価は、測定方法によって異なります。また、**単に抗体陽性とされる値よりは高い値**なので注意してください。
- * 医療機関を受診する際には、必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか、予め確認してください。また、この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。

この感染予防措置に関する問い合わせは

神戸大学保健管理センター TEL 078-803-5245

神戸大学学務部学生支援課 TEL 078-803-5219

12. 志願者数等の状況

※ () 内の数字は外国人留学生特別入試を内数で示します。
 ※人間環境学専攻の募集人員は第Ⅰ期・第Ⅱ期を合わせた人数です。

令和6年度

専攻		募集人員	進学者選考			入学者選考			入学者数
			志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	
人間発達専攻		11	8	8	8	13(4)	13(4)	7(1)	14
人間環境学専攻	第Ⅰ期	6	3	2	2	1(1)	1(1)	1(1)	3(1)
	第Ⅱ期		2(1)	2(1)	2(1)	4(1)	4(1)	4(1)	6(2)
合計		17	13(1)	12(1)	12(1)	18(6)	18(6)	12(3)	23(3)

令和7年度

専攻		募集人員	進学者選考			入学者選考			入学者数
			志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	
人間発達専攻		11	6	5	5	11(2)	9(0)	6(0)	11
人間環境学専攻	第Ⅰ期	6	2	2	2	1	1	1	3
	第Ⅱ期		1(1)	1(1)	1(1)	2	2	2	3(1)
合計		17	9(1)	8(1)	8(1)	14(2)	12(0)	9(0)	17(1)

令和8年度

専攻		募集人員	進学者選考			入学者選考			入学者数
			志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	
人間発達専攻		11	7	7	5	14(2)	14(2)	11(2)	16(2)
人間環境学専攻	第Ⅰ期	6	2	2	2	3(1)	3(1)	3(1)	5(1)
	第Ⅱ期		2(1)	2(1)	2(1)	1(1)	1(1)	1(1)	3(2)
合計		17	11(1)	11(1)	9(1)	18(4)	18(4)	15(4)	24(3)

13. 教員一覧(50音順)(2026年4月1日現在)

【人間発達専攻人間発達講座】

受験区分	職名	教員氏名	受験区分	職名	教員氏名
心理系 ○印は「臨床心理学コース」担当教員を示す。	准教授 教授 准教授 助教 教授 講師 教授 教授 准教授 准教授 助教	○相澤 直樹 赤木 和重 ○安達 友紀 柿沼 享祐 ※加藤 佳子 ○岸田 広平 坂本 美紀 林 創 古谷 真樹 ○山根 隆宏 山本 健太	教育系	准教授 教授 教授 教授 助教 准教授 教授 教授 准教授 教授 准教授 助教 教授 教授 教授 准教授 教授	稲原 美苗 岡部 恭幸 川地 亜弥子 北野 幸子 後藤 聡美 田中 伸 津田 英二 勅使河原 君江 中谷 奈津子 峯 恭子 村瀬 瑠美 目黒 強 山口 悦司 山下 晃一 ラッソ・エルッキ・タオ 渡邊 隆信
表現系	准教授 教授 准教授 教授 助教 准教授 教授 教授 教授 教授 教授 講師	上田 香 大田 美佐子 岡野 真裕 岸本 吉弘 清水 大地 関 典子 谷 正人 田畑 暁生 野中 哲士 平芳 裕子 余田 有希子			
行動系	准教授 准教授 助教 准教授 准教授 教授 准教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	秋元 忍 石原 暢 打田 篤彦 木伏 紅緒 木村 哲也 佐藤 幸治 ※高田 義弘 ※高見 和至 長々原 誠 原田 和弘 ※前田 正登 増本 康平			

※：令和10年（2028年）3月退職予定

【人間環境学専攻人間環境学講座】

受験区分	職名	教員氏名
自然環境論	教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 助教 教授 教授 教授 教授	蘆田 弘樹 丑丸 敦史 江原 靖人 大串 健一 近江戸 伸子 黒澤 耕介 小谷野 由紀 佐賀 達矢 佐藤 春実 高見 泰興 谷 篤史 源 利文
数理情報環境論	准教授 教授 助教 准教授	エスカワ エマノン 桑村 雅隆 周 怡 長坂 耕作
生活環境論	教授 准教授 准教授 准教授 教授 准教授 准教授 准教授 准教授	井上 真理 内山 愉太 大野 朋子 清野 未恵子 佐藤 真行 田畑 智博 福田 博也 村山 留美子 湯浅 正洋
社会環境論	准教授 教授 准教授 准教授 准教授 講師	井口 克郎 太田 和宏 坂井 晃介 橋本 直人 原 将也 松山 沙織